



10月新着図書案内

中旬版

富山中部高校図書館



吉本ばななが友だちの 悩みについてこたえる

吉本 ばなな 著

私であれば、このように対処します——。10～60代の友だちづきあいの疑問に、具体的な処方箋がいっぱい。他人との距離の取り方、どのようにふるまえばよいかななどの基本を親身に正直に語る。多くの困難を生きて、人びとの声に耳を傾けてきた著者による36の名回答。



テンプル騎士団

佐藤 賢一 著

12世紀初頭に誕生した「テンプル騎士団」は、もともとエルサレム巡礼に向かう人々の保護のために設立された。しかしその後、彼らは、軍事力、政治力、経済力すべてを持ち合わせた超国家組織に変貌を遂げる。本書では、その成立過程から悲劇的結末まで、200年にわたる興亡を鮮やかに描き出す。



誰のために法は生まれた

木庭 顕 著

追いつめられた、たった一人を守るもの。それが法とデモクラシーの基である。替えのきく人間なんて一人もいない——。問題を鋭く見詰め、格闘した紀元前ギリシャ・ローマ人が残した古典作品を深く読み解き、すべてを貫く原理を取り出してくる。最先端の知は、こんなにも愉快だ！ 中高生と語った5日間の記録。



土 地球最後のナゾ 100億人を養う土壌を求めて

藤井 一至 著

**著者は本校第52回
(平成12年3月)**

卒業生です！

カラー写真や図表が
多く掲載され、
「土」への理解が深まる
おすすめの本です。

世界の土はたった12種類。土壌の働きは、現在の科学でも完全には解明できておらず、地球最後のナゾとも言われている。毎日の食卓を支え、地球の未来を支えてくれる本当に「肥沃な土」はどこに？ そもそも土とは一体何なのか？ 泥にまみれて地球を巡った研究者が、土の不思議な魅力を語る。

実験シーンがとても丁寧に描かれ、研究職のイメージがつかめる本です。装丁も美しい一冊。



愛なき世界

三浦 しをん 著

洋食屋の見習い・藤丸陽太が恋をした本村紗英は、三度の飯よりシロイヌナズナ（葉っぱ）の研究が好き。人生のすべてを植物に捧げる本村に、藤丸は恋の光合成を起こせるのか！？ 風変りな理系の人々とお料理男子が紡ぐ、美味しくて温かな青春小説。

図書館からのお知らせ

【予告】
中間考査後
本の未返却者に
「返却のお願い」を
配布します。